

公益財団法人不老会会員のご家族の皆様へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	Thiel（シール）法固定ご献体を用いた泌尿器科低侵襲手術における泌尿器科臓器解剖に関する研究
研究機関名及び研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	（担当科）泌尿器科 （職名）教授 （氏名）佐々直人
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 ご遺体による手術手技研修等は医療安全効果による国民の福祉への貢献を目的としています</p> <p>〔対象となる方〕 研究実施承認日から 2027 年 9 月までに医学教育に使用されるご献体</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2028 年 1 月 31 日</p> <p>〔利用方法〕 「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」、 「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」を遵守して行います。Thiel（シール）法により固定したご献体を用いて、手術手技のトレーニング（腹腔鏡下腎摘除術、膀胱全摘除術、前立腺全摘除術、仙骨脛固定術、骨盤臓器脱メッシュ手術、経尿道的手術）人体の解剖の理解を目的とします。医師として熟練するために手術手技のトレーニングおよび解剖の理解を行います。</p> <p>この研究に関する研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。入手・閲覧を希望する場合や、お問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 【なし】</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：ご献体 情報：用いません
試料・情報の提供を行う機関の名称及び	【非該当】

